

『諏訪形誌』正誤表

2020年10月に刊行された『諏訪形誌』刊行後、いくつかの誤りがみつかりました。お詫びし、訂正させていただきます。

記載場所	誤	正
p 6 右上「真田自治会との交流」の写真	平成20（2008）年	平成28（2016）年
p 8 2 下段4行目	岩倉具視	岩倉具定
p 10 4 下段10行目	開墾作業開始は昭和19（1944）年9月4日	開墾作業開始は昭和18（1943）年9月4日 『長野県上田千曲高等学校60年誌』の資料による
p 10 4 下段写真	小牧山頂南側の現在畑地となっている場所が「開墾地跡」として紹介されていますが、実際の「開墾地跡」はこの写真の場所より東寄り、現在は藪になっているところです。	
p 10 6 上段	宮下諦一郎さん	宮下締一郎さん
p 15 5 上段13行目	柳澤清視自治会長	窪田暢自治会長
p 17 4 下段19行目	昭和19（1944）年	昭和20（1945）年
p 17 4 下段～17 5 上段	「里見淳はずっと諏訪形に滞在していた」と読める文脈となっていますが、誤りです。	里見淳は主に鎌倉に住んでいてしばしば諏訪形の小早川家を訪れていました。
p 23 6 上段	羽地純一郎さん	羽地潤一郎さん
p 24 5 下段	東山の金さん	遠山の金さん
p 25 4 上段 ベルフラワーズの発足	平成28（2016）年	平成23（2011）年
p 27 1 上段 写真の中の文字	諏訪神社水天宮	諏訪神社天神宮
p 27 1	荒神宮の創建などについては、伝承と史実とがやや混乱している部分があります。	
p 27 1	須川にあった諏訪神社の移転について「経緯は不明」となっていますが、「諏訪形郷土史研究 郷土を知ろう 諏訪形の史跡めぐり（金子素人著）」には「明治45年（1912）、「須川鎮座諏訪社、社寺合併規則ニヨリ村社諏訪神社境内ニ移ス」とある（中村御黨覚書帳）」の記載があり、法的な根拠に基づくものであったようです。	
p 27 2 上段	中原兼遠の子	中原兼遠の孫
p 27 2 上段	今井四郎兼平の弟	今井四郎兼平の子
p 27 3 参考文献	荒神宮由来記	荒神宮由来
p 27 7 上段	本尊釈迦牟尼仏	本尊阿弥陀仏または阿弥陀如来
p 27 7 上段	一門の菩薩を弔う	一門の菩提を弔う
p 28 1 上段	文久3（1863）年	文久元（1861）年
p 28 2 上段	宮下惇徳翁	宮下惇信翁
p 28 2 下段	徳本上人（1785～1816）	徳本上人（1758～1818）
p 28 2 下段	文化3（1806）年	文化13（1816）年

※『諏訪形誌』では数字は「漢数字」となっています。